



# 関西大学 経済学部 ってこんな学部!

**01 学科(専攻・専修・コース)**

興味・関心に応じて  
3年次から選べる4コース

**02 特徴的な教育プログラム**

「経済学ワークショップ」で  
課題解決スキルが身に付く(P.09)

**03 教育体制**

50を超える多種多様な  
ゼミから選択できる

**04 学びの環境**

豊富な英語開講科目を留学生と共に受講し、  
キャンパス内で異文化理解が深まる

**05 学部独自の留学制度**

1週間と1カ月の選べる学部独自の  
留学制度を通してリーダーシップを育む

**06 卒業後の進路**

メーカー、金融業・保険業、情報通信業、  
公務員など多様な分野で活躍

経済学部の最新情報をチェックしよう!

## 学部ホームページ

さらに詳しい情報、最新のトピックは、「経済学部ホームページ」をご確認ください。「ゼミPRESS」をはじめ、学びの魅力に触れられるコンテンツが満載です。



## 関大先生チャンネル

関西大学の教員が研究・教育活動について語る「知の動画アーカイブ」、それが「関大先生チャンネル」です。学部のさまざまな先生の講義を体験!



関西大学の最新情報をチェックしよう!

## 関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。

関大 入試 検索



### 大阪(大阪梅田)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

### 京都(京都河原町)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

### Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

### 新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

### 大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

# 経済学部

## 経済学科

経済政策コース

歴史・思想コース

産業・企業経済コース

国際経済コース

FACULTY OF ECONOMICS



# 関西大学 経済学部 で身に付く

# 7つの力

経済学部の  
リアルな学びを発信中!



## 1 興味を強みに変える力

50人以上の経済学者が多様なゼミを展開。あなたの興味に合わせてゼミを選べます。講義で学んだ理論を実践し、応用力を身に付ける場として、ゼミ活動での主体的な学びが経済学部の最大の魅力です!



## 4 グローバルな視点で経済を理解する力

外国語の運用能力だけでなく、国際経済に対する理解を深めるための留学プログラムを学部独自で実施。さらに、さまざまなバックグラウンドを持つ学生同士が経済学の視点を持って英語で学ぶ専門教育科目を展開。海外での経験が、帰国後の学びのモチベーションにつながり、その後の選択肢が大きく広がります。



## 2 実践的な活動で育まれる課題解決力

多様なアウトプットを実践するゼミ活動では、フィールドワーク、ビジネスプランの策定、地方自治体への政策提言など、大学を飛び出して活動するゼミも多数あります。社会で必要となる視点やマナーと、社会課題に向き合う力が身に付きます。



## 5 ICTを活用する力

入学初年度から少人数クラスで全員が履修する「経済学ワークショップ」では、パソコン必須のカリキュラムでICTリテラシーが身に付きます。パワーポイントを用いたプレゼンテーションの方法なども学び、人前で話す経験も得られます。



## 3 主体的に行動・発信する力

各ゼミ対抗で研究の成果をプレゼンテーションするゼミナール大会や、2年次生を対象としたゼミ相談会、学園祭での模擬店出店など、ゼミ活動は正課の授業だけでなく正課外での活動を含めて、学生主導で進みます。多彩な活動経験を通して主体的に行動する力が身に付きます。



## 6 データを分析する力

実習系の科目も配置されており、政府が力を入れて育成している「デジタル推進人材」に必要な、統計やデータ分析スキルを身に付けることができます。



## 7 セルフブランディング力

興味を深く追究できる4つのコースで専門性を深め、ゼミ活動や長期留学、資格取得など、学生一人一人の目標に合わせて大学4年間を活用できる自由度の高いカリキュラムが魅力です。



経済政策コース

歴史・思想コース

産業・企業経済コース

国際経済コース

### 先輩たちはどんなことに興味があるの? ~経済学部ゼミナール大会のテーマ~

- リフレッシュ休暇でストレス社会脱却!
  - 地価で見る、商店街活性化政策の効果
  - 電車を彩る広告の秘密
  - リーダーの選出方法が集団パフォーマンスに与える影響
  - サブスクリプションはSDGs推進に効果的か否か
  - 関西風と関東風のだしの違い ~地域が育んだ味の文化を探る~
  - Jリーグとガンバ大阪の経済効果
  - キャッシュレス決済の普及が経済に与える影響
- ほか

# カリキュラム

1・2年次で経済学の基礎能力を習得した上で、  
3年次以降は各々の関心と目的に沿って4つのコースに所属し、  
学びを深めます。



## 経済学部生のイチオシ科目紹介

※このカリキュラムは2026年度入学生用です。一部科目は変更される可能性があります

### ① 行動経済学

私たちの経済活動の「心理学的な特徴」を明らかにする

行動経済学は、経済学と心理学とが合わさった分野で、**私たちの経済活動の心理学的な側面に焦点を当てます。**授業では、人を対象としたさまざまな心理・経済実験の結果について学びました。特に印象に残っているのはアンカリング効果で、被験者の商品に対する評価(その商品をいくらで買いたいか)が、直前に頭をよぎった全く無関係な数字に大きく左右されてしまうという現象に驚きました。扱っているテーマが身近で分かりやすく、大変興味深いものでした。



3年次生  
川崎 陽奈太さん

### ② データ分析入門 (原因と結果の経済学)

データ分析と経済学を通じて 社会のさまざまな問いに答える

「データ分析」の授業では、これまで現実にどの程度あてはまるのかを、実証します。近年、何かと話題に上がる授業を通じて、**データ分析に必要な基**ことができ**ます。**例えば、企業が販売戦略を決める際、広告の効果を正確に測定することが求められます。経済学の知識とデータ分析のスキルを応用することで、適切に答えることができるようになります

学んできた経済理論が実際のデータを用いて検データ分析ですが、この本的な知識を習得する略を決める際、広告の効す。経済学の知識とデータ分析のスキルを応用することで、適切な問いに対して適感しています。



3年次生  
田中 来実さん

### ③ 地域経済論

理論と現実の両方から地域経済が抱える問題とその解決を考える

経済活動は地域を基盤に行われています。情報技術が発展し、グローバル経済が叫ばれる現在でも企業の立地や人が住む場所は特定の地域に集中します。地域経済論ではこうした地域に注目し、今日の経済を学びます。授業では、まずなぜ企業や人が特定の地域に集まるのかといった地域経済を作り出す基本的な理論を学んだ上で、地方圏における地域振興や大阪の経済的地盤沈下といった**地方**が抱える課題の解決について勉強をしています。



3年次生  
島村 花菜子さん

※全てのページにおいて学生の年次は取材時のものです。



# 経済学部独自の留学制度 GoLDプログラム

Global Leadership Development Program

海外での1週間で広がるその後の選択肢

経済学部教員による事前授業と全行程引率による  
インプット・アウトプットの強化

現地企業への訪問や現地学生との  
交流を通して培う国際的な視点

## ベトナム

(2027年度実施予定)

## ダナン大学



- 現地企業やさまざまな現場を訪問し、東南アジアの中でも成長率の高いベトナムの経済発展を考える
- 英語による講義や現地学生とのディスカッションを通じ、ベトナムの経済や文化を学び、経済学部の専門教育科目(2単位)として単位認定される
- 豊かな食文化はもちろん、世界遺産のホイアンなど歴史・文化スポットも充実



## 台湾

(2026年度実施予定)

## 国立高雄科技大学・台湾大学・玄奘大学・政治大学



- 渡航前の事前授業から現地学生とコミュニケーションをとり、高い学習効果が期待できる
- 日本語、英語、中国語を使って、考え・調べ・まとめ、伝えるスキルを養い、経済学部の専門教育科目(2単位)として単位認定される
- 夜市での食べ歩きや、故宮博物院などの歴史・文化スポットも充実



### 参加学生の声

本プログラムでしか出会えない現地学生と交流できたことが素晴らしい経験となった

1週間は短すぎたと思っていたが、みっちりスケジュールが組まれ、とても濃厚で充実した留学期間を送れた

引率の学部教員が語学面だけでなく、経済学の知識をもって解説・サポートをしてくれるため学習効果が高まった

事前授業を通して仲間意識が高まり、一体感をもって渡航できたのが良かった

視野が広がり、学部内でも学年を超えた交流をもてた

ホームステイではなく、現地学生の「素」の生活を一緒に体験できたのが良かった



参加学生インタビュー

### 台湾プログラムに参加

「現地学生との交流を通して自信が付き、留学に対する意欲が高まりました。」

英語には少し苦手意識がありましたが、台湾の大学生たちと英語や日本語、ジェスチャーを使いながら意思疎通を図ることで、いつの間にか自分の中の英語へのハードルが低くなったように思います。印象に残っているのは、知り合った大学生の皆さんの対応が親切だったこと、自国の経済や政治を考えて大学で熱心に学んでいる姿です。このような刺激を1年次に得られて良かったですし、次は1か月間のGoLDプログラムにもぜひ参加したいと思うようになりました。



12月 関大x高科 一期一会

1年次生(プログラム参加時) 山向 周さん

外国語運用能力も経験値も上がる充実の1カ月

日本との違いを生活の中で日々発見しながら、  
新しい視点や価値観を醸成

外国語科目の単位だけでなく、  
国際経済への関心を高める専門科目の単位認定

## オーストラリア

(2027年度実施予定)

## 西シドニー大学



- オーストラリア経済の中心地であるシドニーで経済学を学び、経済学部の専門教育科目(2単位)として単位認定される
- 習熟度別の少人数クラスで英語を学び、外国語科目(2単位)として単位認定される
- 多国籍の人々が集まるグローバルな街でホームステイを経験できる
- 週末はオペラハウスやハーバーブリッジのある美しい港町で自然も楽しめる



## ニュージーランド

(2026年度実施予定)

## ワイカト大学



- NZ首相をも輩出し、経済学・マネジメント分野で高い評価を得る大学で経済学を学び、経済学部の専門教育科目(2単位)として単位認定される
- 都会の喧騒から離れた緑あふれる広大なキャンパスで英語を学び、外国語科目(2単位)として単位認定される
- 自然豊かでアットホームな家庭でホームステイを経験できる
- 先住民であるマオリ族の文化や生活に触れる機会もある



参加学生インタビュー

### ニュージーランドプログラムに参加

「今でもニュージーランドに戻りたいと思うほど、コミュニケーションを楽しんだ1カ月間でした。」

現地の授業では英語のゲームを交えたり、図書館で借りた本を基にプレゼンテーションを行ったりと、楽しみながら学ぶことができました。心に残っているのは、ホストファミリーとの交流です。家族のように関わろうとしてくれたことで、英語で話すことに抵抗がなくなり、コミュニケーションを楽しめるようになりました。ニュージーランドの自然に感動したこと、卒業後も世界中の自然を観てみたいという夢ができました。



3年次生(プログラム参加時) 山本 満理奈さん



### 参加学生の声

参加者全員が経済学部生で、帰国後も交流をもち続けられていることがうれしい

ホームステイを通して現地の生活を体験でき、各国の文化や価値観を肌で感じられる魅力的なプログラムだった

留学先のキャンパスはきれいで、すれ違った人とあいさつをするような温かい雰囲気だった

現地の先生は陽気で優しい方が多かった

事前授業がとても楽しく、この仲間でオーストラリアに行くんだとワクワクした

1か月間の留学は学業や他の予定と両立しやすいのもメリットで、今後、長期留学を考えている人にもオススメです

出発前から親身なサポートを受けられ、初めての留学でも安心して学ぶことができた



各プログラムの特徴や参加学生の声、フォトギャラリーを

# 学部HPで公開中



## 多種多様なゼミ

3年次からは50を超えるゼミのいずれかに所属することができ、少人数で研究内容を深めます。

## 開発経済学

## 山本 ゼミ

## 森林大国インドネシアでの調査を通して、途上国の開発と経済の関係について考える

## | インドネシアの農村に赴き、現地調査を行いました。

**雑賀さん** 山本ゼミでは貧困や労働、環境などさまざまな問題を通して途上国の経済について考えます。

**青木さん** 私たちのグループは、インドネシアにおける植林が及ぼす社会的影響について研究するため、ジャワ島中部のジョグジャカルタの農村で、10日間の現地調査を行いました。

**山本先生** 大学生が海外で調査を行うことは簡単ではありませんが、森林減少という地球規模の課題に、研究という形で触れられる経験はとても有意義だと思います。

**雑賀さん** インドネシアは世界第3位の熱帯林面積を保有する一方で、急激な経済発展を続けています。開発が進むほど森林は減少するため、豊かな森林を保全する道筋を考えるために、現地の農民の方々への聞き取り調査を行いました。

**青木さん** 家族構成や収入など、現地農家の経済状況や森林保全への意識を調査し、農業活動と森林保全意識との相関関係を、データを用いて調べることが主な目的です。

## | 慣れない環境の中で現地の人たちと打ち解け、調査を進める得難い経験ができました。

**青木さん** インドネシアの文化や環境については事前に調査したつもりですが、現地では驚きと発見の連続でした。

**雑賀さん** 思っていたより農業に必要なインフラが整備されていないことが驚きで、環境整備や効率化が急務だと感じました。また宗教的な問題で「投資」という言葉を使った調査項目に難色を示されるなど、予期せぬトラブルもありました。

**青木さん** 気候や環境の違いに戸惑うこともありましたが、雑賀さんが「しんどい時こそ口角を上げよう」と励ましてくれました。

3年次生  
青木 桜子さん3年次生  
雑賀 瞳さん

**雑賀さん** 現地の方々もとても温かく、一緒に写真を撮ったり、食事をふるまってくれたり、良い思い出ばかりです。

**青木さん** 昼食にパッパを出されたときは少し驚きましたが、海老みたいでとてもおいしかったです。調査には現地の大学生も参加したのですが、英語でのやりとりを含めて、山本先生にたくさん助けていただきました。

**山本先生** こうしたフィールドワークは地道な作業の連続です。二人も慣れない作業が続いて疲労がたまる中、周囲に積極的に話しかけるなど、調査を盛り上げようと頑張ってくれました。

## | 調査・研究した成果を、どう伝えるのかを追求し、学内ゼミナール大会で優勝しました。

**雑賀さん** 帰国後、調査結果をまとめて、複数の大学が参加するインターゼミ大会と学内のゼミナール大会で発表を行いました。ゼミ活動として海外調査を行う事例は少なく、他大学の方々から好評をいただきました。



**青木さん** ただし、私たちにとっては当たり前のことでも、初めて聞く人にはなかなか通じません。興味をもって聞いてもらえるように、スライドの表現や伝え方は特に試行錯誤を重ねました。

**雑賀さん** ゼミのメンバーからももらった意見を反映させ、ブラッシュアップして挑んだ学内ゼミナール大会の研究発表部門では、優勝することができました。当初掲げていた目標の一つが達成でき、自信につながりました。

**山本先生** 学内ゼミナール大会の優勝には私も驚かされました。よくがんばったと思います。今回は大規模な調査ではありませんでしたが、それでも得られた成果は、森林保全を考える上で非常に貴重な価値をもっています。今後も精力的に研究を続けてください。

経済政策コース  
山本 裕基教授

## 経済学説史

## 「自分と社会をめぐる『あたりまえ』を問いなおします」

## 中澤 ゼミ

歴史・思想コース  
中澤 信彦教授

## 今までと異なる考え方や発想の仕方を身に付けていく

ゼミのテーマは「脱常識の社会経済学—『あたりまえ』を問いなおす」です。指導教員の専門が「経済学説史」という学際色の濃い分野であるため、経済学をベースに置きつつ、哲学・社会学・心理学・歴史学等の知見も積極的に活用して、ゼミ生自身の日常の素朴な疑問や悩みを出発点とした主体的な学びを推進しています。過去の研究テーマは、働き方改革・地域活性化・同調圧力・アイドル進化論など多岐にわたりますが、どんなテーマを選ぶ場合でも、強く深く徹底的に考え抜くことが要求されます。教室外での活動も、京都での座禅会・他大学との合同ゼミ・学園祭での模擬店出店など、とても活発です。



## 計量経済学

## 「経済現象を統計学の視点から見つめる」

## 片山 ゼミ

産業・企業経済コース  
片山 直也 教授

## 統計学の勉強は座学では終わらない

ゼミでは、統計データの分析の手法を学ぶとともに、問題を見つけて答えを導き出す力を培うことを目標に活動しています。1つ目は、相関分析や回帰分析のすぐ先にあるさまざまな統計関連の学習です。ロジットモデル・プロビットモデル・コンジョイント分析・教師あり学習の基本などを勉強しています。2つ目は、統計調査の実践です。学内外で、先方と調査目的の意見交換をし、調査内容を考えながら、調査の計画を進めています。入手したデータを整理したのち、統計分析を行い、研究発表を行います。卒業論文にまとめる作業を行います。このように、座学の統計学習で結果をだす前後には、さまざまな作業があります。そのような体験はゼミでしかできないので、ぜひ経験してもらいたいと思います。



## 政策提言

## 「大学の枠を超えた政策提言で地域経済を動かします」

## 後藤 ゼミ

国際経済コース  
後藤 健太教授

## 現代の日本における地域経済の持続的な発展をめざす

学生を主体とする実践的な政策提言型プロジェクト「GoTo Project」を運営しています。このプロジェクトは各地方自治体と連携し、地域産業・経済の持続的な発展をめざすもので、学生が現地を訪れて実際に調査を行い、現実の発展・開発課題に向き合いながら考えを深め、問題解決へのアプローチを探ります。町役場や市役所、企業、農林水産業従事者等幅広いステークホルダーを巻き込む本気のプロジェクトであるため、学生の言動には大きな責任が伴い、コミットメントに対する自主性・考動力・チーム力が問われる中で、頭だけではなく体を動かす経験を通じて、グローバル社会を生き抜く力を身に付けてもらいたいと考えています。



# 英語で学ぶ経済学

＼ クロアチアから関大へ ＼

多文化共修とは、日本人学生と留学生など異なる文化的背景をもつ学生が同じ授業で学び、対話やグループワークを通して互いの価値観や考え方を共有しながら理解を深める学びです。多様な視点を身に付け、グローバル社会に必要な協働力を育みます。その力を育むための専門教育科目を経済学部では多数開講しています。

## 期待される学習効果

- 異文化への理解と共感力(エンパシー)の向上
- コミュニケーション力の強化
- 多角的な視点と柔軟な思考力の習得
- 問題解決力の向上とグローバルな視野の獲得

イエレナ・ルクマン 特別任命助教



多文化共修科目で必要なのは、英語力よりも積極性

私の担当する授業では、「経済」に関連するトピックを切り口に、日本人学生と留学生がそれぞれのバックグラウンドを踏まえて、多様な考え方や価値観を共有し、お互いの視野を広げる機会を提供しています。できるだけたくさんの学生と交流できるように、タスクごとにグループを再編して、新しい学びに触れてもらえるように授業を運営しています。英語でのアクティブラーニングは、日本人学生にはハードルが高く感じるかもしれませんが、必要なのはチャレンジする気持ちです。英語力にはそれぞれ差があっても、積極的に授業に参加し、シンプルな英語であっても自分の考えを発信する力を身に付けてほしいと願っています。

＼ イタリアから関大へ ＼

3年次生  
デルボールゴ ビクトルさん



経済学を学びながら、いろいろな国の考え方に触れられるのが魅力

この授業ではグループワークが多く、学生同士協力しながら学べるのがおもしろいところです。交換留学生などさまざまな国の学生と英語で交流しながら学ぶことができました。授業はとても分かりやすく工夫され、ドラマの動画等を使用して、経済学への理解がさらに深まったと感じています。

＼ 関大からオーストラリアへ留学 ＼

3年次生  
田村 奏音さん



英語力にかかわらず、安心して参加できるのがおすすめポイント

この授業では、ディスカッションやプレゼンテーション、グループワークの機会が多く、さまざまな国の学生と一緒に学びます。さまざまな国の学生と意見を交換することで、それぞれの国の経済状況や考え方を直接聞くことができ、普段の授業では得られない国際的な視点に触れることができます。

受講生の声を動画でチェック!



## 少人数教育

クラス担任によるきめ細かなフォローで安心

# 経済学ワークショップ

経済学部生全員が履修する「経済学ワークショップ」では、グループで課題解決に取り組むPBL教育(Project-Based Learning)を導入しています。PBL教育では課題解決の方法を自分たちで一から主体的に考え、解決策を発表。グループワークの中で、ノートテイキングやプレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成などの基礎的スキルを身に付けながら、経済学部での学びや社会で役立つ基礎能力を養います。

少人数クラス制の実践的な学びで、主体的な課題解決スキルを身に付けます

### 経済学ワークショップI

経済学部生としての学習に必要な情報収集能力、プレゼンテーション能力、レポート作成能力などを身に付けることを目的としています。

### 経済学ワークショップII

専門科目を学ぶ際に必要なデータ分析に関するさまざまな知識・技術を身に付けることを目的としています。



POINT

- 1 専任教員がクラス担任となる少人数クラス制授業!
- 2 BYOD (Bring Your Own Device) 対象科目となり、演習では自身のパソコンを使って作業!
- 3 ワークショップIIでは習熟度別のクラス編成に!

経済学ワークショップI・IIを受講した学生に聞きました

大迫さんの場合

「発表や論文執筆、データ分析など、経済学部での学びに不可欠な知識や技術を学びます。」

経済学ワークショップIでは、論文の書き方や研究発表の方法といった基礎的な力を身に付け、その集大成としてグループで「一泊二日の旅行プラン」を立て、発表しました。少人数制なので質問やディスカッションがしやすく、グループ発表でもうまく役割分担ができました。ワークショップIIでは、主にExcelを使って統計やデータの可視化、回帰分析といったデータ分析の基礎を学びます。この科目で身に付けたデータの正しい捉え方や扱いは、3・4年次のゼミでも大いに役立っています。ワークショップという「ステップ」を踏むことで、授業の専門性が高くなってきても無理なく学びを深められたと感じています。



4年次生  
大迫 翔輝さん

### 経済学ワークショップIの学びの例

- |                     |                                |
|---------------------|--------------------------------|
| STEP1 課題の把握         | 旅行プランを提供する客層や価格帯などの設定          |
| STEP2 グループディスカッション  | メンバーの出身地や認知度をもとに議論し、旅行先を決定     |
| STEP3 情報収集・分析(授業内外) | 歴史や観光地、ご当地グルメといった情報を収集・整理      |
| STEP4 解決策の立案・発表     | 発表の印象度を高めるため、発表内容のコンセプトを明確化    |
| STEP5 フィードバック・振り返り  | コンセプトに沿ってプレゼン資料を作り込み、1位の評価を受ける |

経済学ワークショップIで身に付いたこと

発表の準備を進める過程で、周囲と協力して課題に取り組む力が身に付きました。

経済学ワークショップIIで身に付いたこと

標本数や散布図の確認など、さまざまな観点からデータを吟味する力が身に付きました。

## 学びのアウトプット

学内外で多様な活動・発信を展開

# 経商合同学内ゼミナール大会

経済学部・商学部が合同で行っている学術大会です。さまざまなゼミから学生たちがチームを組んで参加し、約1年間にわたって学んできた研究成果の集大成を披露します。61回目を迎えた2025年度はプレゼンテーション部門、研究発表部門に分かれ、経済学部からは約100チームが参加しました。年に一度の貴重な機会を生かし、学生間でも積極的な意見交換がなされるなど、大いに盛り上がりました。

発表テーマ

「1on1」でパワハラゼロ社会へ!!

職場内コミュニケーションの効果をデータと取材で検証。

ハラスメントを恐れる上司が、部下への指導を躊躇する。そんな姿をアルバイト先で目にしたことが、この研究の出発点です。原因は職場内のコミュニケーション不足にあると考えた私たちは、上司と部下の1on1ミーティングに着目。約50社から得たデータを基にした「パネルデータ分析」と、導入企業へのインタビュー調査を組み合わせ検証を行いました。その結果、「1on1」は全ての企業で利益を生むわけではないものの、コミュニケーションが重要な業種においては企業価値向上につながる可能性が見えてきました。さらに、制度の形骸化を防ぐため、上司の「傾聴力」を高める研修の導入も提言としてまとめました。



互いの個性を尊重し、磨き抜いたプレゼン。

データ分析、論理的なスライド構成、全体の調整、斬新な発想で視点を広げる役など、メンバーそれぞれの個性が強みになりました。大会に対するモチベーションの差や意見の衝突に直面したこともありますが、互いの性格や適性を理解し合うことで乗り越えられました。直前までスライドや原稿の修正を重ねた結果、本番の手ごたえは「過去一番」。自信をもって発表することができた上に、質疑応答でも入念な準備と取材の成果を発揮し、的確に回答できたことが、優勝につながったと思います。

## ゼミナール大会の裏側

本大会を実施・運営するのは「経済学部ゼミナール協議会」という学生団体! 参加ゼミの募集から当日の運営までを経済学部生が担う、まさに学生主体の大会です。多くの関係者と協力しながら大きな企画を成し遂げること、運営者・参加者の両方の立場を理解して行動すること、活動に対して教職員からフィードバックを得られることは、学生にとって貴重な経験になっています。



株式会社JTB  
に内定

井口 雄斗さん

入学時

人間の心や行動を経済的な視点から捉えてみたいと思った

高校時代は人間の心理や行動原理に興味があり、心理学を学ぶか、行動経済学を学ぶかで迷っていました。当時読んだ本の中に「人間は無意識に合理的な選択を行う」という一節があり、広い視野から経済活動を学ぶと面白そうだと考えました。また、オープンキャンパスや学園祭に参加した際に、千里山キャンパスの美しさや学生の活気に触れ、充実した学生生活を送ることができそうだと感じたので、入学を決めました。

1年次

経済学ワークショップを通して大学での学び方の基礎を身に付けた

経済学の基礎となる「ミクロ経済学入門」「マクロ経済学入門」を履修しました。特に「マクロ経済学入門」では、需要と供給の関係、所得、貯蓄、投資といった経済活動について、政府が合理的な選択を行っていることに面白さを感じました。また「経済学ワークショップ」では、学術情報の宝庫である図書館の利用方法や、文献の調べ方、発表の仕方を教わり、大学でどのように学んでいくのかを身に付けることができました。

2年次

留学を通して海外と日本の政策のあり方の違いを実感した

「経済政策」を受講し、明石市の子育て政策について学びました。子どもの医療費無償化、中学校の給食費の無償化などを通して、実際に明石市に人々が移住し、人口が増えている点が興味深いと感じました。また、国際部が主催する語学セミナーでカナダに1カ月留学しました。カナダでは医療費が無料で、日本との政策の違いを肌で実感しました。帰国後は国際部で留学生をサポートする学生スタッフとして活動を始め、学んだことを実践する機会を得ました。



3年次

ベトナムでの短期留学を通してめざしたい将来像が見えてきた

経済政策コースに進み、政策提言を行う本西ゼミに所属しました。春学期は関西電力との共同研究に取り組み、秋学期からは兵庫県丹波市との連携事業に参加。また就職活動直前には、経済学部が主催するベトナムでのGoLDプログラムにも参加しました。約1週間の短期留学でしたが、急速に経済成長を遂げているベトナムを肌で感じ、こうした経験を未来の中高生に届ける仕事がしたいと思うようになりました。



4年次

地域が抱える課題に対する政策提言が就職活動でも評価された

丹波市との共同研究の成果を卒業論文にまとめました。丹波市は若者が都市部に転出し、人口が減少しているという課題があります。そこで、まずは丹波市の知名度を高めることが必要だと考えました。食と自然に恵まれた地域の特性を生かして、私たちのグループは「食フェス」を企画提案。この研究活動については就職活動でもアピールし、自分たちで考え行動した一連のプロセスを評価してもらうことができました。



社会での活躍

Q 経済学部で身に付けた強みは？

A 講義やゼミ活動を通して、社会で起きていることに対して関心や疑問をもち、自分で調べる習慣ができました。また、GoLDプログラムを通してベトナムの経済状況や政策について学び、思考の幅が広がりました。

Q 卒業後の目標は？

A 卒業後は旅行業界で働きます。自分が企画した旅行を通して、多くの方の価値観や考え方を考えるきっかけを作ることが目標です。また、将来的には地域活性化事業に携わり、自治体や地域の方々と一緒にその土地ならではの魅力を広めていきたいです。



日本航空株式会社  
に内定

巖 美咲さん

入学時

社会に出てから役立つ知識を在学中に身に付けようと思った

高校時代は理系クラスでしたが、物理が苦手なこともあり進路選択を迷っていました。結果的に文系の経済学部を選んだのは、幅広い分野をすべて社会に出てから役立つ知識が身に付くと考えたからです。特にお金の知識は重要だと感じていました。明るく活気のあるキャンパスで過ごせる点や、2年次の秋までじっくり考えてからコースを選べる点、GoLDプログラムなど学外で活動できる機会が充実している点にも惹かれました。



1年次

社会経済の仕組みを広い視点から学ぶ面白さを感じた

「ミクロ経済学入門」と「マクロ経済学入門」を履修し、経済と社会の仕組みについて基礎から学びました。特に「マクロ経済学入門」では国全体の経済の流れを学ぶことができ、興味をもちました。また、英語の授業では上級者クラスに入ることができ、韓国や中国からの留学生と学びました。同世代の海外の学生と、文化の違いや社会的な話題について意見を交わすことができ、とても楽しかったです。この経験を通して海外への関心が高まり、留学を決意しました。

2年次

2つの海外体験を通して世界に対する視野が広がった

2年次の春学期にイギリスのカンタベリー大学に交換留学し、ディベートやグループワークなど、アウトプット中心の学習スタイルに刺激を受けました。また、ホームステイ先で「自分の人生だから好きなように生きるといい」と言われ、個人を尊重する文化に感銘を受けたことが印象に残っています。2月にはGoLDプログラムでベトナムを訪問。中所得国の経済構造を学ぶとともに、新たな考え方や価値観を知ることができ、視野が広がりました。



3年次

国際経済をテーマに研究しゼミナール大会で準優勝を果たした

国際経済を学ぶゼミに所属しました。GoLDプログラムで得た経験から、税金や社会保障制度が適用されないインフォーマル経済と格差をテーマに研究し、「GDPが少ない国ほどインフォーマル経済の割合が大きくなる」という仮説を立て、データを分析。その結果、学内のゼミナール大会で準優勝という結果を得ることができました。こうした経験を通して、チームワークやコミュニケーション能力が高まったと思います。

4年次

研究と就職活動を両立させ憧れの航空業界から内定を得た

4年次はGoLDプログラムでの学びをさらに深め、インフォーマル経済と格差についての卒業論文に取り組んでいます。3年次の研究をさらに深掘りし、英語で執筆された論文も参照しながら視野を広げました。就職活動は経済学部での学びを活かそうと金融業界を中心に進めていましたが、チームワークやコミュニケーション力を評価していただいた日本航空に内定をいただき、幼い頃からの憧れであった客室乗務員になることを決意しました。秋以降は卒業論文の執筆に集中し、研究活動を通して学びを深めました。

社会での活躍

Q 経済学部で身に付けた強みは？

A 行動力と自分の思いを伝える力が大きく成長したと思います。特に相手がどう受け取っているかに気を配りながら、コミュニケーションの解像度を高めることができました。また、経済や政策など、人生に必要な知識を学べました。

Q 卒業後の目標は？

A 卒業後は客室乗務員として、お客様に安心と快適さを届けたいです。これからも語学力とコミュニケーション能力を磨き、チームや周りの人に頼りにされる、どんな環境でも必要とされる人物になることが目標です。



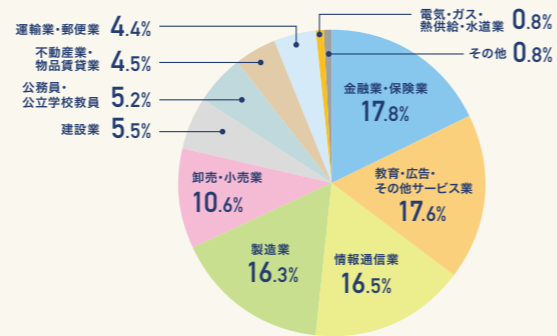
# 就職実績

手厚いキャリア支援を受け、希望する将来に進む

経済学部の卒業生は、メーカーをはじめ、金融・保険、情報通信、公務員など多様な分野に就職しています。本学はキャリア支援に力を入れており、毎年400社以上の企業を学内に招きセミナーを実施しています。学生の興味・関心の幅を広げる業界・企業研究セミナー等に加え、採用選考に必要なスキルを学ぶセミナーなど、多彩なプログラムを取り揃えています。

# 98.3%

■2025年度 業種別 就職状況



## 就職先の一例(2025年度実績)

金融業・保険業	あいおいニッセイ同和損害保険、SMBC日興証券、大阪シティ信用金庫、岡三証券、オリックス、関西みらい銀行、紀陽銀行、住友生命保険、損害保険ジャパン、第一生命保険、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、東京海上日動火災保険、日本銀行、日本政策金融公庫、日本生命保険、農林中央金庫、みずほ銀行、三井住友カード、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三菱UFJ銀行、三菱UFJモルガンスタンレー証券、明治安田生命保険、ゆうちょ銀行、りそなグループ など
教育・広告・その他サービス業	アクセンチュア、オリエンタルランド、大和総研、デロイトトーマツ、乃村工藝社、PwC Japan有限責任監査法人、ペイカレント、マイナビ など
情報通信業	伊藤忠テクノソリューションズ、SCSK、NTTデータ、NTT西日本、オービック、JCOM、スマセイ情報システム、ソフトバンク、テレビ東京、日本アイ・ピー・エム、日本総合研究所、U-NEXT HOLDINGS、読売新聞大阪本社、楽天グループ など
製造業	アイリスオーヤマ、アサヒビール、アズビル、いすゞ自動車、エースコック、エスベック、沖電気工業、川崎重工業、キーエンス、キッコーマン、京セラ、グローリー、シスメックス、スズキ、積水化学工業、ダイヘン、椿本チエイン、TOA、東洋製罐グループホールディングス、東洋紡、豊田自動織機、NISSHA、ニプロ、日本板硝子、パナソニックグループ、浜松ホニダックス、パナソニックエナジー、プロテリアル、美津濃、三菱重工業、三菱電機、三菱電機ビルソリューションズ、山崎製パン、ライオン など

卸売・小売業	イオンリテール、岩谷産業、加藤産業、シャープマーケティングジャパン、セブンイレブン・ジャパン、大丸松坂屋百貨店、ダイワボウ情報システム、椿本興業、トラスコ中山、日伝、阪和興業、マクニカ、山星屋、ローソン など
建設業	一条工務店、関電工、きんでん、住友林業、積水ハウス、パロマ、リンナイ など
公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、国税専門官、防衛省自衛隊 幹部候補生、大阪府職員、兵庫県職員、鳥取県職員、大阪市職員、堺市職員、枚方市職員、大阪府警察官 など
不動産業・物品賃貸業	三井住友ファイナンス&リース、三菱HCキャピタル など
運輸業・郵便業	山九、全日本空輸(ANA)、東海旅客鉄道(JR東海)、西日本旅客鉄道(JR西日本)、日本通運、日本郵便、日本航空(JAL) など
電気・ガス・熱供給・水道業	四国電力 など
その他	国立病院機構、日本年金機構 など

※原則として業種別、50音順で記載しています

# 卒業生からのメッセージ

経済学部の卒業生は、国内外の経済を理論と実践から学んだ経験を生かし、幅広いフィールドで活躍しています。

先輩方から、現在のキャリアに在学中の学びがどのようにつながっているかを教えてもらいました。

## 経済学部で学んだ知識と経験を日々の授業に生かしています



大阪府立池田高等学校

2024年3月卒業  
川上 颯太さん

高校教員としてさまざまな業務を担当

### 現在につながる在学中の学び

2年次	学校インターンシップに参加 実習を経験し、将来の仕事について具体的なイメージをつかみました
3年次	ゼミナール大会に出場 社会問題を理論的なフレームワークで考察しました
4年次	卒業論文の作成に注力 大学生の課題提出に関する実情を明らかにしました

## ゼミ活動で培ったプレゼンテーション能力が仕事に生かされています



田辺ファーマ株式会社

2019年3月卒業  
樋口 加奈さん

MRとして診療所や病院、薬局合わせて200件ほどを担当

### 現在につながる在学中の学び

1年次	ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ 経済学の基礎となる知識と考え方を身に付けました
3年次	ゼミ活動の一環で現地調査を行う 社会の仕組みを知るために工場見学などを行いました
4年次	卒業論文の作成に注力 「日本の医療と先発医薬品企業」をテーマに、医療現場の現状をまとめました

# 大学院への進学

早期卒業制度を利用して5年間の大学院修了も可能

働き方改革による柔軟な働き方の拡大や労働市場の活性化が進む中で、「ジョブ型」制度の導入が進んでいます。ジョブ型雇用では、専門知識を有した人材が必要とされることから、大学院で高度な知識を身に付けた人がますます求められます。また、グローバル化社会の中では、海外で働く可能性も想定され、修士号が専門知識や課題解決能力への評価につながることもあります。

経済学部では、本学経済学研究科への進学をめざす、学業成績が優秀な学生を対象に3年間の在学期間で卒業を認める制度を設けています。

## 大学院で身に付く社会人基礎力

前に踏み出す力  
(アクション)

主体性や実行力など

考え抜く力  
(シンキング)

課題発見力・計画力・創造力など

チームで働く力  
(チームワーク)

傾聴力・柔軟性・状況把握力など



## 前期課程(修士課程)修了後の就職先例

銀行・金融業	あいおいニッセイ同和損保、中国銀行、ゆうちょ銀行
コンサルタント、IT	アクセンチュア、LTEC株式会社、デロイトトーマツデータ、日本総合研究所
製造業	NEC、大同特殊鋼株式会社、TOWA株式会社、P&Gジャパン、村田製作所、レノボジャパングループ
その他	OAG税理士法人、関西エアポート、蝶理、帝国ホテル、楽天グループ、後期課程進学



経済学研究科  
修士課程前期課程 1年次生  
松山 春花さん

### Q1 大学院に進学した理由は?

**A** 学部を3年間で早期卒業し、税理士をめざすために進学しました。税理士試験の一部科目が免除となる修士論文を書く予定です。大学院に進むことで税理士という仕事が大きく近づく点に魅力を感じました。

### Q2 どんな研究に取り組んでいる?

**A** 2023年10月からスタートしたインボイス制度をテーマに研究しています。制度が移行したことで、理論上で得られる消費税額と実際の消費税額の差がどれくらい変化するか推計を行っています。

## 在学中に得た論理的に考える力は日々の業務に不可欠です



株式会社システムサポート

2024年3月卒業  
山本 菜々美さん

システムエンジニアとして業務を担当

### 現在につながる在学中の学び

2年次	資格取得をめざして学習 資格取得のための勉強や資格取得に励みました
3年次	ゼミ活動に注力 食品ロス削減に有効な価格設定についてチームで考察しました
4年次	卒業論文の作成に注力 「食品小売業へのダイナミック・プライシング導入効果」をテーマに研究しました

## ゼミ活動を通して得たチームで動く力が役立っています



株式会社NTTデータ

2022年3月卒業  
今西 亮太さん

大規模決済システムの開発、維持・運用を担当

### 現在につながる在学中の学び

1年次	ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ 経済学の基本的な知識や考え方を学びました
3年次	ゼミナール大会に出場 情報収集力や分析力を高めました
4年次	卒業論文の作成に注力 財務省の人事について、人的資源の観点で分析しました

※「社会人基礎力」とは、3つの能力(12の能力要素)から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が提唱したものです。